

## 2008年度 学部共同研究会一覧

回 / 日 時	テーマおよび報告者
第1回 (6月24日)	<p>＜私の研究＞</p> <p>「スポーツ経済の進展とマネジメント研究」            山下 秋二 (産業社会学部教授)</p> <p>「脳における感覚と運動の結びつき—その異常とスポーツ, 日常生活での応用。大脳誘発電位を用いた検討から—」            漆原 良 (産業社会学部准教授)</p>
第2回 (7月4日)	<p>「アメリカの東アジア学術交流, および東アジア研究の発展におけるハーバード大学エンツィン研究所の役割」            エド・ベーカー (ハーバード大学エンツィン研究所コンサルタント)</p>
第3回 (8月1日)	<p>＜私の研究＞</p> <p>「戦後日本社会と国民体育大会の研究」            権 学俊 (産業社会学部准教授)</p>
第4回 (10月3日)	<p>「ヴィルヘルム・ハンマースホイの室内画—19世紀のヨーロッパにみる, 家庭における個の喪失感—」            フェリックス・クレマー (ドイツ・シュテューデル美術館, 19世紀絵画彫刻部門長)</p>
第5回 (11月4日)	<p>＜私の研究＞</p> <p>「体育と認識について」            石田 智巳 (産業社会学部准教授)</p> <p>「『戦争体験』の変容と教養主義—『きけわだつみのこえ』のメディア史—」            福間 良明 (産業社会学部准教授)</p>
第6回 (11月14日)	<p>「ヨーロッパ統合とスウェーデン」            Torgny Klasson (産業社会学部客員教授・ベクショー大学社会科学部政治学科長)</p>
第7回 (1月16日)	<p>「先住民族と日系カナダ人」            田中 裕介 (日系ヴォイス編集長)</p>
第8回 (2月10日)	<p>＜私の研究＞</p> <p>「耐久消費財のリサイクルの課題と展望」            杉本 通百則 (産業社会学部准教授)</p> <p>「『場所の力』を引き出す作法—コミュニティ・デザインからのアプローチ—」            永橋 為介 (産業社会学部准教授)</p>
第9回 (3月3日)	<p>＜定年退職記念研究会＞</p> <p>「私の心理臨床実践から」            高垣 忠一郎 (産業社会学部教授)</p> <p>「言論の公共圏への市民参加はいかに恢復されてきたか」            津田 正夫 (産業社会学部教授)</p>
第10回 (3月5日)	<p>「近著『スポーツ社会学の可能性—歴史・身体・社会を探る』の検討」            高津 勝 (一橋大学大学院社会学研究科教授)</p>